

山下雄平新聞

<発行元>
山下雄平後援会
〒840-0801
佐賀県佐賀市駅前
中央三丁目6-11
TEL:0952-37-8290
FAX:0952-37-8291

西日本豪雨で復旧・復興を指揮

防災政務官 調査団で被災地に

七月上旬に発生した西日本豪雨では発生直後から、防災政務官として政府内で復旧・復興の指揮を執っています。佐賀県をはじめ全国各地で二百人以上の方が亡くなった「平成最悪」の大水害。道路や河川などインフラの復旧、生活・生業の再生を急がなければいけません。

九州北部豪雨から一年が経った七月五日。台風七号や梅雨前線の影響で全国的に大雨となりました。降り始めの段階で、小此木八郎防災大臣と共に関係省庁会議を開き、自治体に向けて「空振りを恐れ



政府調査団として避難所を訪問(7月13日、愛媛県)

ず、避難勧告などを出すようお願いしたい」と発信しました。その後も大雨が続くことが予想されていたので、「少しでも危険だと感じれば自発的に避難するように心掛けてほしい」とも呼びかけていました。

しかし、結果的に大きな被害が出てしまいました。直後から政府や自治体だけでは、愛媛県大洲市では、激しい雨を受けて上流の二つのダムを放水せざるを得なくな

り、広い範囲が水没しました。国土交通省の方は「上流だけ堤防を一気に高くすると、大雨の時に下流が溢れてしまう。下流の堤防を高くして次は上流、というように一歩一歩やっていくしかない難しさがある」と地道な治水対策の重要性を指摘されました。

浄水施設などが被害を受けているため、水道の完全復旧までには時間がかかりそうです。私が訪れた避難所では西佐賀水道企業団などの応援で給水支援が行われていました。政府の支援によるクレーンの設置などについては地元の方々から感謝の言葉もいただきました。

ボランティアでも活動

農家ハウスを復旧

西日本豪雨では佐賀県内でも大きな被害が出ました。二人の方が亡くなり、道路や鉄道なども不通になりました。

私には被災箇所を調査するとともに、佐賀市が募集した復旧ボランティアにも参加しました。

私がお邪魔した富士町市川だけで百件を超えるそうです。農林業など生業への影響にも対処していきます。

ができましたが、種を蒔いたばかりの土は入れ換える必要がありそうでした。また、ビニールが飛ばされずに済んだトマトのハウスでは、風雨による水に揉まれたことで、うどんこ病を発症しているものもありました。



参院選の公認決定

来年夏に予定されている参議院選挙の第一次公認が七月二十日に自民党本部から発表され、佐賀選挙区の候補予定者として私も選ばれました。

た。第一次公認では最年少でした。これから来年に向けた準備を進めていきます。初心を忘れず、地域の声を国政で形にしていけるようにさらに努力していきます。